



(玉掛け技能講習規程第4条(特例)を受ける場合の添付書類)

※下記の(1)又は(2)の該当する欄に記入すること

(1) 玉掛けの補助作業の実務経験証明

補助作業の 期 間	クレーンの 種類又は形式	荷の種類 及び形状	具体的な作業内容

(2) 玉掛け業務(特別教育終了後)の実務経験証明

実務経験の 期 間	クレーンの 種類又は形式	荷の種類 及び形状	具体的な作業内容

(該当項目に○をする)

1. 玉掛けの補助作業の実務経験は、上記のとおり相違ありません。
2. 玉掛け業務(特別教育終了後)の実務経験は、上記のとおり相違ありません。

本 人

印

【受講資格】

- ① クレーン、移動式クレーン、デリック若しくは揚貨装置でつり上げ荷重若しくは制限荷重が1トン以上のものの玉掛け補助作業の業務又は制限荷重が1トン未満の揚貨装置の玉掛けの業務に6カ月以上就いた経験を有する者。
- ② つり上げ荷重が1トン未満のクレーン、移動式クレーン又はデリックの玉掛けの業務に、特別教育終了後6カ月以上就いた経験を有する者。

～ 玉掛け受講申請書記入例 ～  
表

ふりがな	× × × ×		生年月日	昭和 平成 54年 3月 24日 (満〇〇才)
氏名	〇〇 〇〇		自宅電話	029-000-0000
本籍地	<del>茨城</del> 都道府(県) <u>(都道府県のみ)</u>	ケイタイ	090-0000-0000	
住所	〒310-0062 水戸市大町3-1-22			
所 事業場名	(株)〇〇工業		電 話	029-000-0000
属 所在地	〒310-4567 水戸市〇〇町1-2-3			
受講資格	(該当項目にチェックする) <input checked="" type="checkbox"/> 裏面受講資格①に該当 <input type="checkbox"/> 裏面受講資格②に該当			
経験年数	自 H10年 4月 ～ 至 H17年 3月 (経験年数 6年 11月)			
事業主証明	上記の特別教育修了及び玉掛け業務経験について相違ないことを証明します。 所在地 水戸市〇〇町1-2-3 事業場名 株式会社〇〇工業 代表者氏名 代表取締役 △△ △△ (代表者の印)			
修了証送付先	自宅 会社		いずれにも〇印無き場合は、会社宛送付とさせていただきます。	

平成 18 年 3 月 1 日

建設業労働災害防止協会茨城県支部長 殿

申請者 (受講者本人)	〇〇〇〇 (印)
----------------	----------

**※忘れずに記入・捺印してください！  
受講する本人の氏名・捺印です**

① 【事業主証明】の(印)は代表取締役印(丸印)を押してください。  
横判 + 丸印で可。(社判は不要です)

② 事業主本人が受講する場合  
【事業主証明】事業主本人が自分を証明をしているものは無効となります。

↓  
例：元請の代表者  
下請けの代表者  
組合に加入している場合は組合長

…などのように他社の代表者の方に証明していただいでください。

※上記2点について記入に誤りがあつたり、記入もれのある場合は再記入のうえ再提出となりますのでご注意ください。

# 裏

(玉掛技能講習規程第4条 (特例) を受ける場合の添付書類)

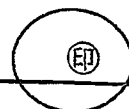
## 玉掛の補助作業の実務経験証明

補助作業の 期 間	クレーンの種類 又は形式	荷の種類 及び形状	具体的な作業内容
10年4月～ 17年3月、	移動式クレーン (ホイル) 4. 9t ~ 20t	鋼材 H形鋼	各建築工事現場において <u>玉掛作業者(有資格者〇〇〇〇)の指導のもとに</u> クランプ、シャックル及び ワイヤロープによる2~4 点づりによる玉掛作業(つ り荷の質量(1t~10t)) の補助作業

(該当項目に○をする)

1. 玉掛の補助作業の実務経験は、上記のとおり相違ありません。
2. 玉掛作業(特別教育終了後)の実務経験は、上記のとおり相違ありません

本 人            〇〇   〇〇



① すべてもれのないよう記入してください。

※「具体的な作業内容」欄には必ず…

『玉掛作業者(有資格者〇〇〇〇)の指導のもとに～』

↑ 個人名

…の一文を入れてください。

② 「1. 玉掛の補助作業の実務経験は、上記のとおり相違ありません」  
に○をしてください。

③ 表と同様に、受講者本人の記名・捺印をお願いします。